

十里踏破遠足

12月9日（金）に十里踏破遠足が行われた。

十里踏破遠足という行事は、40年以上続く伝統的な行事である。1・2年生全員で歩くこと十里（約40km）。そのすべてのコースを、生徒会執行部を中心とした生徒たちが入念に下見し、時間設定などの計画や、当日の危険箇所での交通指導などもすべて彼らが中心となり運営する。

糸島では未明から雨、時折雷鳴がとどろいていた。しかし、まだ薄暗い中、糸島農業高校に集合した際には、雨は小雨になっており、歩き始める時間になると上がって、まずまずのコンディションの中歩き始めることができた。各クラスの十里委員が中心となり制作したクラス旗を持って、生徒たちは意気揚々と出発した。昼頃には陽が差すようになり、糸島の海岸や満開のコスモスなどの風景を楽しみながら歩いた。終盤になると、足の痛みや疲れと闘いながら、目的地となる前原小学校を目指した。距離にして約40km。例年よりも起伏が激しいというコースを歩ききることができた。

会話を通して、クラスメートの新たな一面を発見したり、互いに励まし合ったりして、友人との仲が深まった一日となったのではないだろうか。また、3月に控える大文化祭に向けて、クラスの団結力を強めるよいきっかけとしてほしい。

なお、この場をお借りしてお世話になった糸島農業高校、桜野小学校、北崎小学校および前原小学校の方々、またご迷惑をおかけした沿道の皆様方に厚く御礼申し上げます。



